

平成20年観光客動態調査の結果について

平成20年（1月～12月）における本県の観光客は24,514千人で、前年に比べ161千人の増加（対前年比+0.7%）となった。

7～9月に開催した大型観光キャンペーン（デスティネーションキャンペーン）により、期間中は前年に比べ367千人増加（対前年比+5.1%）したものの、燃油高による近隣圏からの観光客の伸び悩みや秋以降の景気低迷の影響を受け、年間としては微増となった。

〔主な増加市町〕

（単位：千人、%）

市 町	増加	対前年比	主 な 要 因
山 口 市	253	+ 8.2	DCの集中的な発信による香山公園、湯田温泉等の増加
宇 部 市	63	+ 17.6	イベント集客数の増加と産業観光の実施
防 府 市	31	+ 4.5	防府天満宮、大平山ロープウェイ等の増加

〔主な減少市町〕

（単位：千人、%）

市 町	減少	対前年比	主 な 要 因
萩 市	86	3.5	笠山椿群生林、道の駅等の減少
岩 国 市	82	2.4	潮風公園「みなとオアシスゆう」、日米親善デー等の減少
長 門 市	35	2.8	海水浴客等の減少

県外・県内別観光客の動向（3、4ページ参照）

- ・ 県外客は11,708千人で、前年に比べ151千人の減少となった。
地域別には、近畿、関東、その他からの観光客は増加したが、中国、四国、九州・沖縄、中部、北海道・東北からの観光客は減少した。
- ・ 県内客は12,806千人で、前年に比べ312千人の増加となった。要因としては、自治体間の連携効果やイベント集客数の増加等による。

日帰り・宿泊別観光客の動向（3、4ページ参照）

- ・ 日帰り客は21,040千人で、前年に比べ142千人の増加となった。
- ・ 宿泊客は3,474千人で、前年に比べ20千人の増加となった。
宿泊客の増加は7年ぶり（前は平成13年のきらら博）。

詳細は別紙「平成20年山口県観光客動態調査結果資料」のとおり

【山口県における過去10年間の観光客数】

(単位：千人、%)

年	観光客数	前年対比	特記事項
11	21,051	95.2	しまなみ海道開通、景気低迷、夏場の天候不順
12	21,231	100.9	角島大橋開通、秋吉台エコミュージアムオープン、好天候
13	25,504 (22,990)	120.1 (108.3)	山口きらら博の開催、大型観光キャンペーン実施(7月~9月)、「海響館」のオープン
14	22,862	89.6 (99.4)	首都圏・九州観光キャンペーン開始、錦帯橋の架け替え、冠山総合公園オープン、ダブルトラック化
15	22,849	99.9	大河ドラマ「武蔵」の放映、錦帯橋の架け替え、金子みすゞ記念館オープン、のぞみ停車
16	23,258	101.8	錦帯橋の架け替え完了、秋の行楽シーズン時の悪天候
17	23,828	102.4	大河ドラマ「義経」の放映、台風14号による災害
18	25,304 (23,850)	106.2 (100.1)	国民文化祭開催、やまぐちフラワーランドオープン、美祿サーキット閉鎖
19	24,353	96.2 (102.1)	星野哲郎記念館開館、体験型観光施設集客数の増加
20	24,514	100.7	大型観光キャンペーン実施(7月~9月)、燃油高・景気低迷

注) 記載数値については、四捨五入のため計数が一致しない場合がある。
 平成13年及び18年の()は山口きらら博、国民文化祭来場者をそれぞれ除いた数値。